

資料でみる千歳市の 高齢化の状況と将来の推計

参考資料

- ①千歳市高齢者保健福祉計画・第7期千歳市介護保険事業計画(平成30年度～平成32年度)
- ②千歳市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書(平成29年9月)
- ③北海道の高齢者人口の状況(市町村別)住民基本台帳人口(平成30年1月1日現在)
- ④国立社会保障・人口問題研究所「全国の市町村別将来人口推計(H30年3月30日発表)
- ⑤NPO法人ふまねっと 代表 北澤一利氏 作成資料
- ⑥厚労省介護保険データ

令和2年4月1日改訂版

目次

- 千歳市の人口・高齢化率等の状況 …… 3～4P
- 北海道の高齢者人口の状況(市町村別) …… 5P
- 千歳市の年齢区分別人口と高齢化率の推移 …… 6～7P
- 千歳市の日常生活圏域別高齢化率 …… 8P
- 千歳市は2025年をピークに人口が減少 …… 9～10P
- 千歳市の要支援・要介護者数の推移と将来推計 …… 11～12P
- 北海道内市町村の要介護認定者数の増加率 …… 13～14P
- 千歳市の介護保険給付費(決算額)の推移 …… 15P
- 介護保険料の基準月額 …… 16P
- 認知症有病率・MCI有病率(推定) …… 17P
- 千歳市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果(抜粋) …… 18～32P

千歳市の人口・高齢化率等の状況

	H2.4.1現在	H22.4.1現在	R2.4.1現在
①人口	77,905人	92,785人	97,198人
②世帯数	31,078世帯	43,777世帯	50,101世帯
③1世帯当たりの 人員数	3.03人	2.12人	1.94人
④高齢化率	6.7%	17.1%	23.1%
⑤町内会加入率	約92%	約67%	※約58%

※R2.4.1現在欄に記載する「⑤町内会加入率」は、平成30年6月1日現在の数字となっている。

千歳市の高齢化の状況

	H12.10.1現在	H29.10.1現在	H31.1.1現在
⑥要介護認定者数	1,047人	3,692人	3,859人
⑦要介護認定率	—%	17.3%	17.5%
⑧介護保険料	3,139円	4,700円	4,900円

◎全国平均(平成29年10月現在)

要介護認定率 18.5%(被保険者に対する要介護・要支援認定者の割合)

介護保険料 5,869円(最低 音威子府村3,000円、最高 葛尾村9,800円)

北海道の高齢者人口の状況(市町村別)

平成31年1月1日現在 住民基本台帳人口

市町村名	総人口 (人) A	65歳以上人口		75歳以上人口	
		(人) B	比率 (B/A) %	(人) C	比率 (C/A) %
社管町	2,484	1,002	40.3	559	22.5
白老町	16,816	7,783	46.3	4,141	24.6
厚真町	4,552	1,683	37.0	943	20.7
洞爺湖町	8,737	3,611	41.3	1,984	22.7
安平町	7,896	2,892	36.6	1,590	20.1
むかわ町	8,050	3,194	39.7	1,695	21.1
日高町	11,918	4,103	34.4	2,171	18.2
平取町	4,960	1,757	35.4	937	18.9
新冠町	5,424	1,771	32.7	959	17.7
浦河町	12,236	3,980	32.5	2,067	16.9
様似町	4,299	1,727	40.2	922	21.4
えりも町	4,689	1,492	31.8	750	16.0
新ひだか町	22,571	7,600	33.7	4,040	17.9
函館市	257,893	89,500	34.7	45,566	17.7
北斗市	46,265	13,291	28.7	6,591	14.2
松前町	7,221	3,501	48.5	1,939	26.9
福島町	4,063	1,911	47.0	1,031	25.4
知内町	4,339	1,677	38.6	868	20.0
木古内町	4,150	1,981	47.7	1,135	27.3
七飯町	28,185	9,432	33.5	4,762	16.9
鹿部町	3,863	1,493	38.6	701	18.1
森町	15,328	5,741	37.5	2,882	18.8
八雲町	16,451	5,545	33.7	2,840	17.3
長万部町	5,363	2,229	41.6	1,339	25.0
江差町	7,705	2,828	36.7	1,571	20.4
上ノ国町	4,831	2,018	41.8	1,075	22.3
厚沢部町	3,857	1,587	41.1	914	23.7
乙部町	3,714	1,636	44.0	942	25.4
奥尻町	2,650	1,045	39.4	572	21.6
今金町	5,353	2,138	39.9	1,242	23.2

市町村名	総人口 (人) A	65歳以上人口		75歳以上人口	
		(人) B	比率 (B/A) %	(人) C	比率 (C/A) %
夕張市	8,033	4,130	51.4	2,464	30.7
岩見沢市	81,608	28,502	34.9	14,787	18.1
美瑛市	21,552	8,927	41.4	4,853	22.5
芦別市	13,608	6,232	45.8	3,484	25.6
赤平市	10,121	4,724	46.7	2,610	25.8
三笠市	8,541	3,959	46.4	2,357	27.6
滝川市	40,252	13,762	34.2	7,113	17.7
砂川市	17,106	6,466	37.8	3,565	20.8
歌志内市	3,271	1,650	50.4	919	28.1
深川市	20,713	8,489	41.0	4,751	22.9
南幌町	7,518	2,466	32.8	1,279	17.0
奈井江町	5,407	2,200	40.7	1,247	23.1
上砂川町	2,977	1,503	50.5	874	29.4
由仁町	5,156	2,083	40.4	1,168	22.7
長沼町	10,849	3,949	36.4	2,181	20.1
栗山町	11,754	4,626	39.4	2,558	21.8
月形町	3,213	1,319	41.1	785	24.4
浦臼町	1,841	807	43.8	448	24.3
新十津川町	6,603	2,540	38.5	1,405	21.3
妹背牛町	2,938	1,370	46.6	773	26.3
秩父別町	2,421	1,003	41.4	590	24.4
南竜町	2,396	975	40.7	554	23.1
北竜町	1,866	812	43.5	497	26.6
沼田町	3,125	1,313	42.0	778	24.9
札幌市	1,941,969	521,049	26.8	249,340	12.8
江別市	118,379	35,489	30.0	17,290	14.6
千歳市	96,382	21,888	22.7	10,270	10.7
恵庭市	69,432	18,870	27.2	9,166	13.2
北広島市	58,326	18,331	31.4	8,408	14.4
石狩市	57,951	19,083	32.9	8,534	14.7

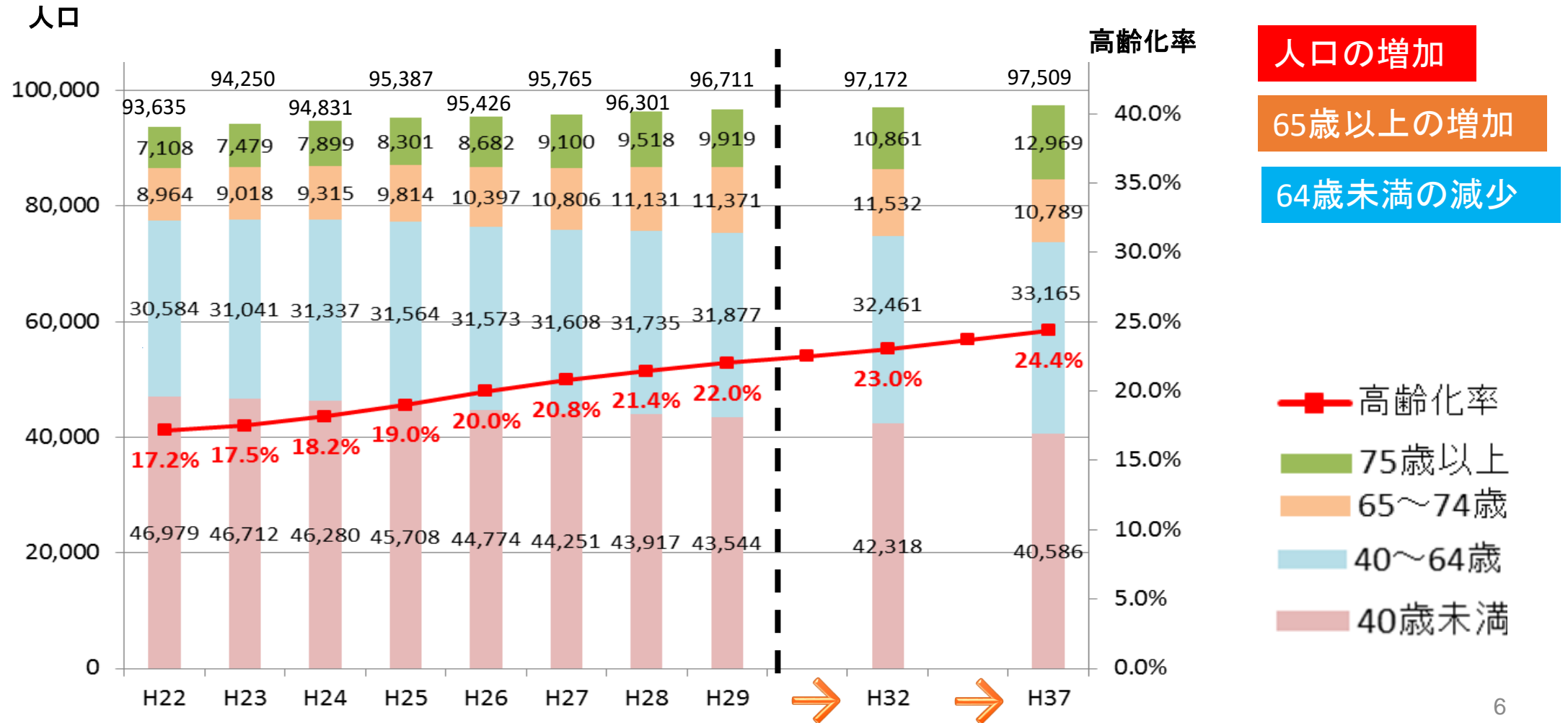
道内で

高齢化率が一番高い夕張市
高齢化率が一番低い千歳市

22.7% 51.4%

千歳市の年齢区分別人口と高齢化率（65歳以上）の推移

平成37年の高齢化率（予測） 千歳市24.4% 全国30.3%



千歳市の年齢区分別人口と高齢化率(65歳以上)の推移

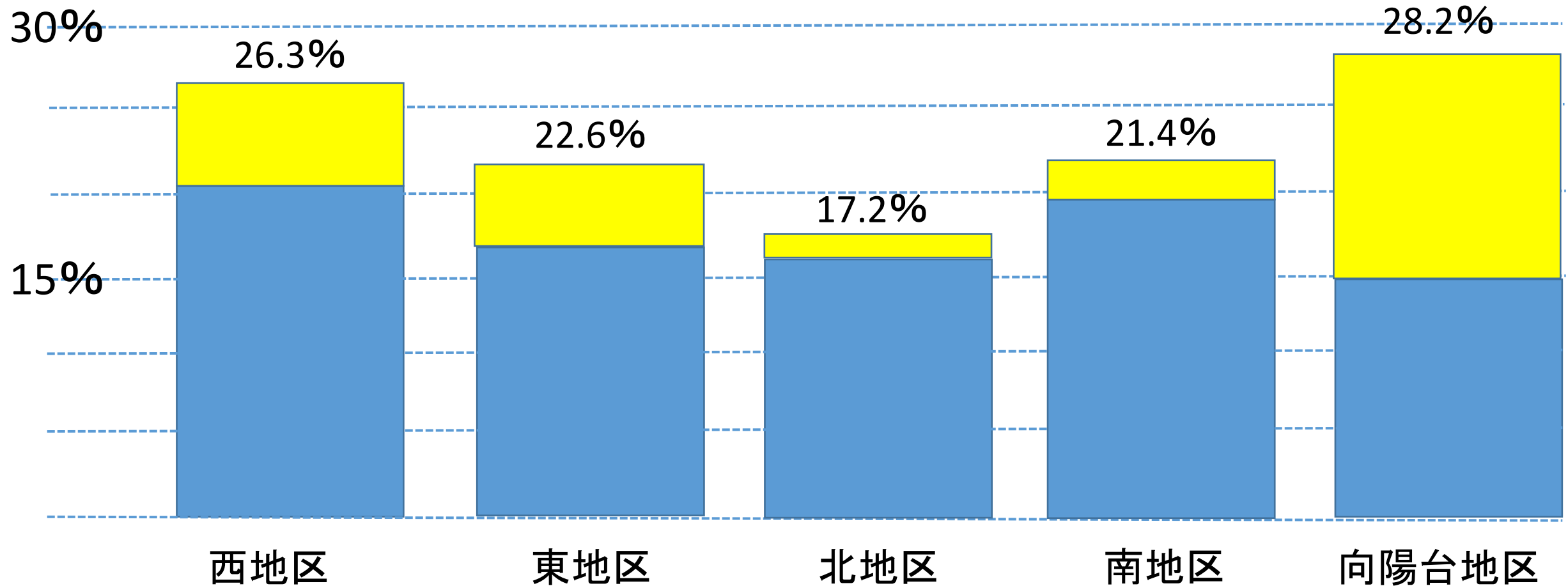
・平成37(2025)年には、前期高齢者の人口は10,789人と**減少傾向**に向かいますが、後期高齢者の人口は12,969人と、平成29(2017)年と比較し**3,050人増加する見通し**です。

・つまり、平成37(2025)年には、後期高齢者の割合が13.3%となり、前期高齢者の割合(11.1%)を上回ることが推計されています。

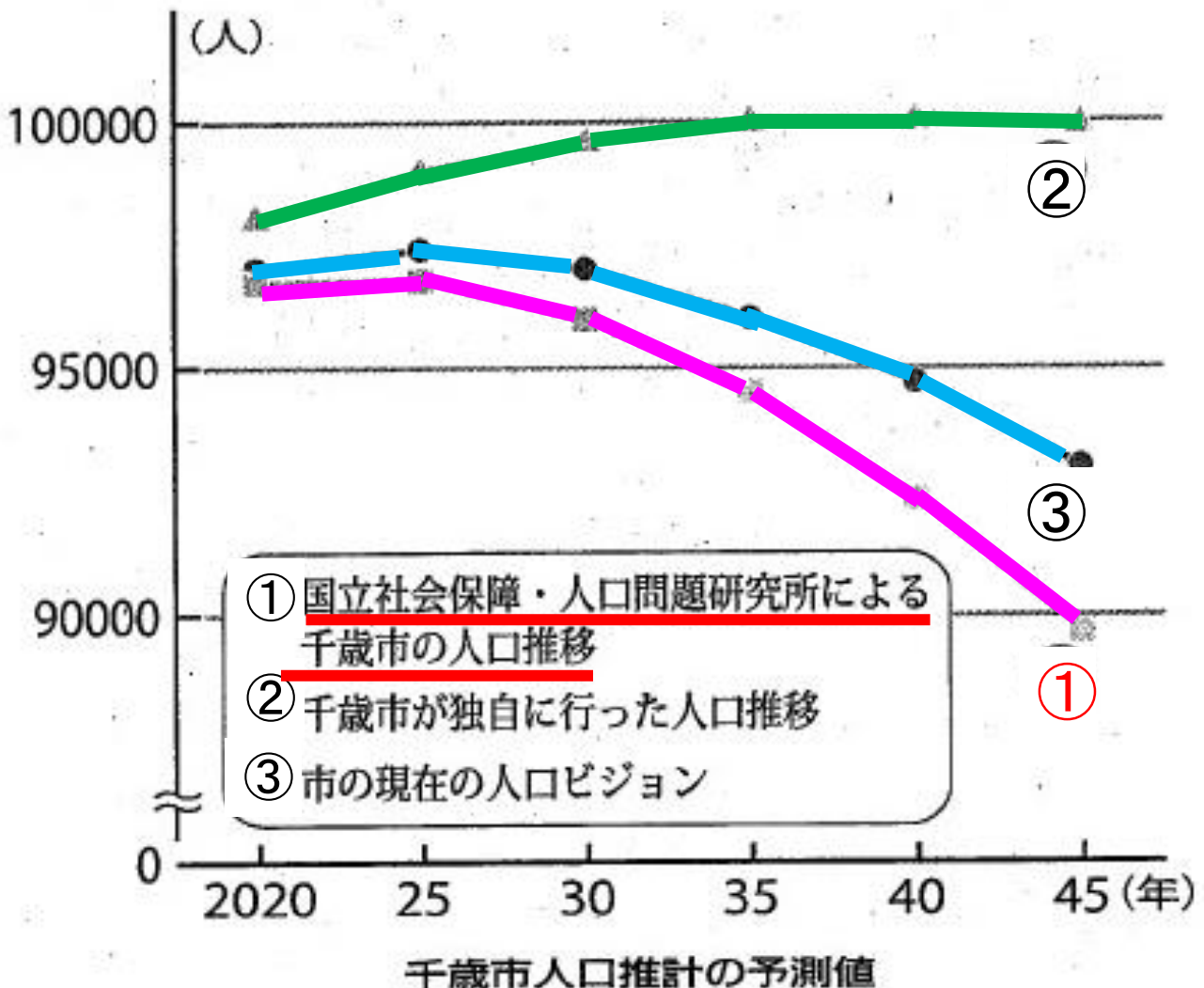
千歳市の日常生活圏域別高齢化率【H22年度・H30年度】

どの圏域も高齢化率は上がっていますが、向陽台地区の上昇率が高く、一番高齢化率が高くなっています。

■ 平成22年年4月1日
■ 平成30年1月1日



千歳市は、2025年度をピークに人口が減少 2045年に8万人台予測

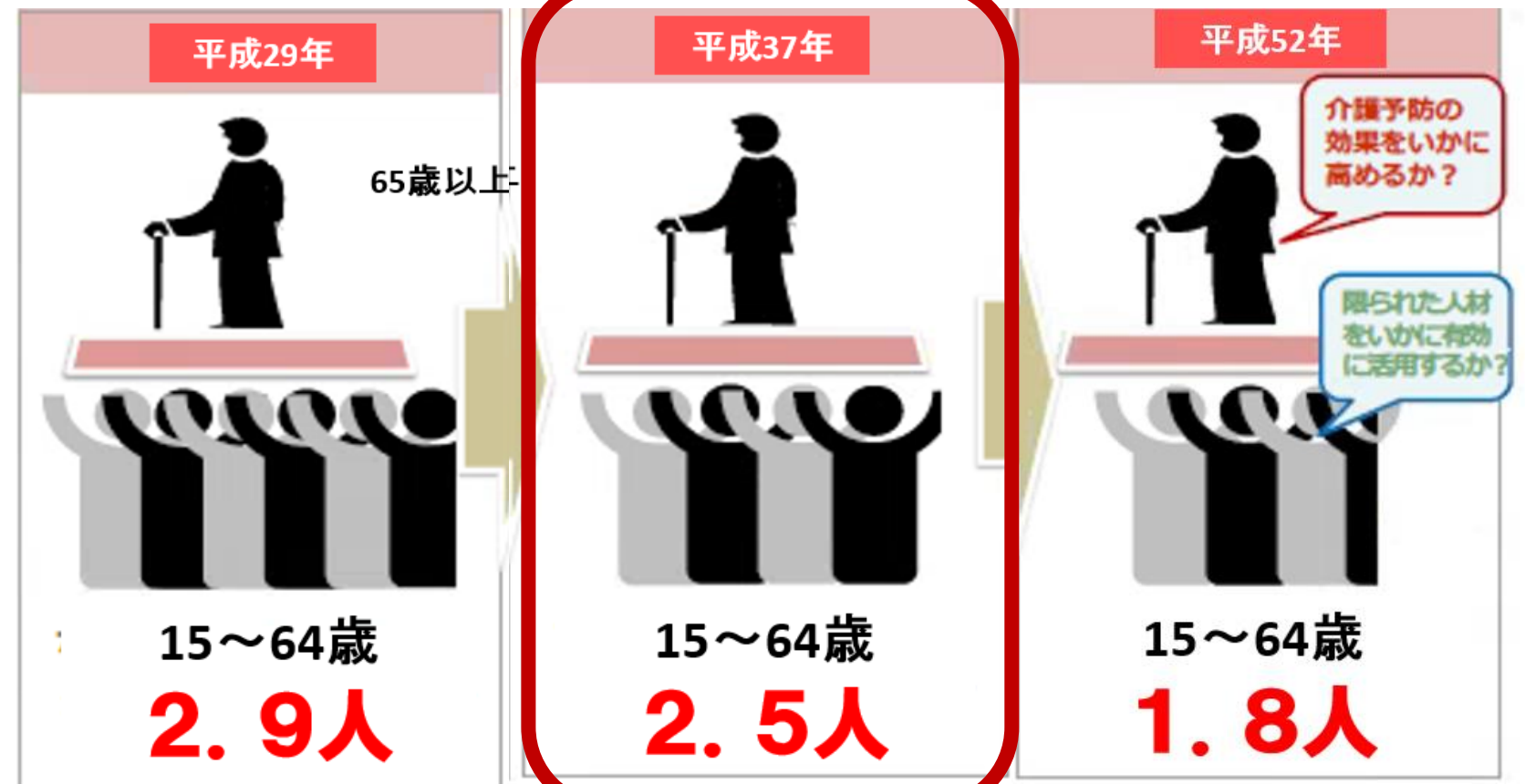
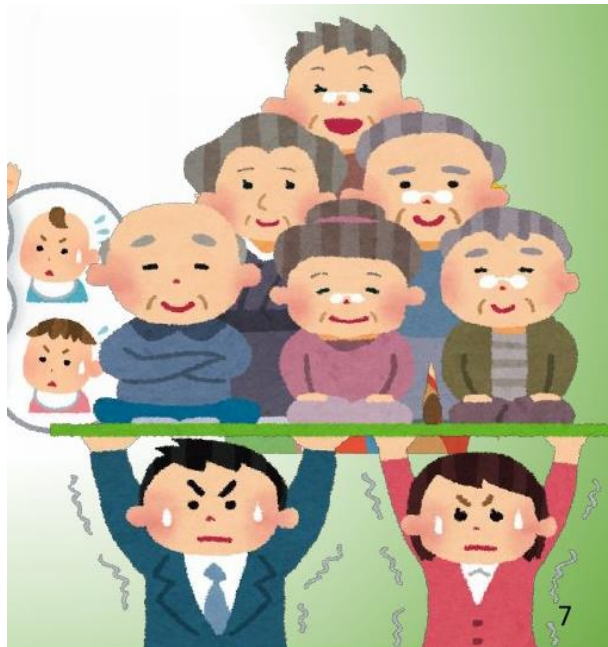


国立社会保障・人口問題研究所が人口推計

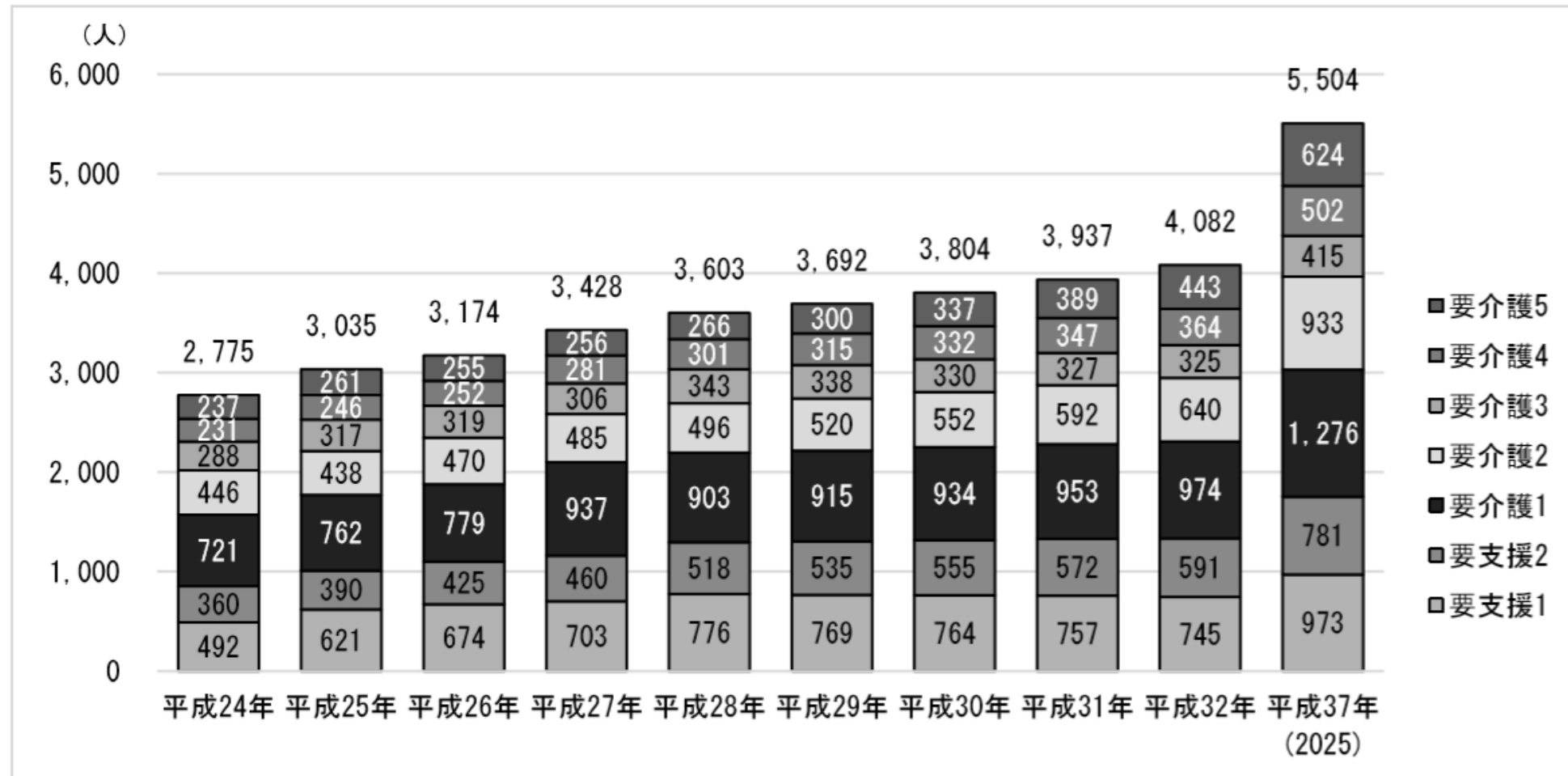
【説明】
道内市町村で人口が減少し、そのうち85市町村の減少率は50%以上ともなったが、千歳市の減り幅は最小となった。
(千歳民報記事から抜粋掲載)

これからますます進む高齢化の問題と人口減少による担い手不足の問題は深刻です

支える側と支えられる側のバランス(千歳市)



千歳市の要支援・要介護者数の推移と将来推計



※平成24年から29年までは10月1日現在の状況です（介護保険事業状況報告）。

平成30年から37年までは、国の地域包括ケア「見える化」システムの将来推計機能による推計値です。

要支援・要介護者数の推移と将来推計

・要支援・要介護の認定者数は、

平成26年 3,174人

平成29年 3,692人

3年間で518人増加しています。

北海道内市町村の要介護認定者数の増加率

(平成23年度～平成29年度までの5年間の増加率)

順位	保険者名	要支援			要介護			要支援+要介護		
		H23年度	H27年度	増加率	H23年度	H27年度	増加率	H23年度	H27年度	増加率
1	千歳市	760	1,220	61%	1,825	2,274	25%	2,585	3,494	35%
2	苫前町	62	93	50%	168	217	29%	230	310	35%
3	釧路町	205	306	49%	524	639	22%	729	945	30%
4	北竜町	24	31	29%	90	116	29%	114	147	29%
5	七飯町	381	533	40%	945	1,169	24%	1,326	1,702	28%
6	南幌町	98	118	20%	258	336	30%	356	454	28%
7	占冠村	10	23	130%	41	42	2%	51	65	27%
8	苫小牧市	1,282	1,914	49%	5,014	6,071	21%	6,296	7,985	27%
9	由仁町	75	92	23%	244	312	28%	319	404	27%
10	札幌市	23,972	34,352	43%	54,385	64,700	19%	78,357	99,052	26%
11	せたな町	132	193	46%	439	526	20%	571	719	26%
12	北広島市	892	1,167	31%	1,653	2,035	23%	2,545	3,202	26%
13	恵庭市	880	1,231	40%	1,478	1,716	16%	2,358	2,947	25%
14	新得町	106	156	47%	292	341	17%	398	497	25%
15	当別町	220	266	21%	560	708	26%	780	974	25%
16	登別市	881	1,264	43%	1,439	1,626	13%	2,320	2,890	25%
17	釧路市	2,273	2,848	25%	6,446	7,941	23%	8,719	10,789	24%
18	三笠市	229	358	56%	568	628	11%	797	986	24%
19	上川町	65	105	62%	180	197	9%	245	302	23%
20	陸別町	38	44	16%	100	126	26%	138	170	23%
37	旭川市	5,384	7,410	38%	12,606	14,152	12%	17,990	21,562	19.9%
134	利尻町	21	26	24%	109	105	-4%	130	131	0.8%
149	えりも町	78	74	-5%	179	169	-6%	257	243	-5.4%
57	全国計	1,399,006	1,748,091	25%	3,906,617	4,455,832	14%	5,305,623	6,203,923	17%

NPO法人ふまねっと代表
北澤一利氏 資料参照

※厚労省介護保険データー
を基に作成された資料

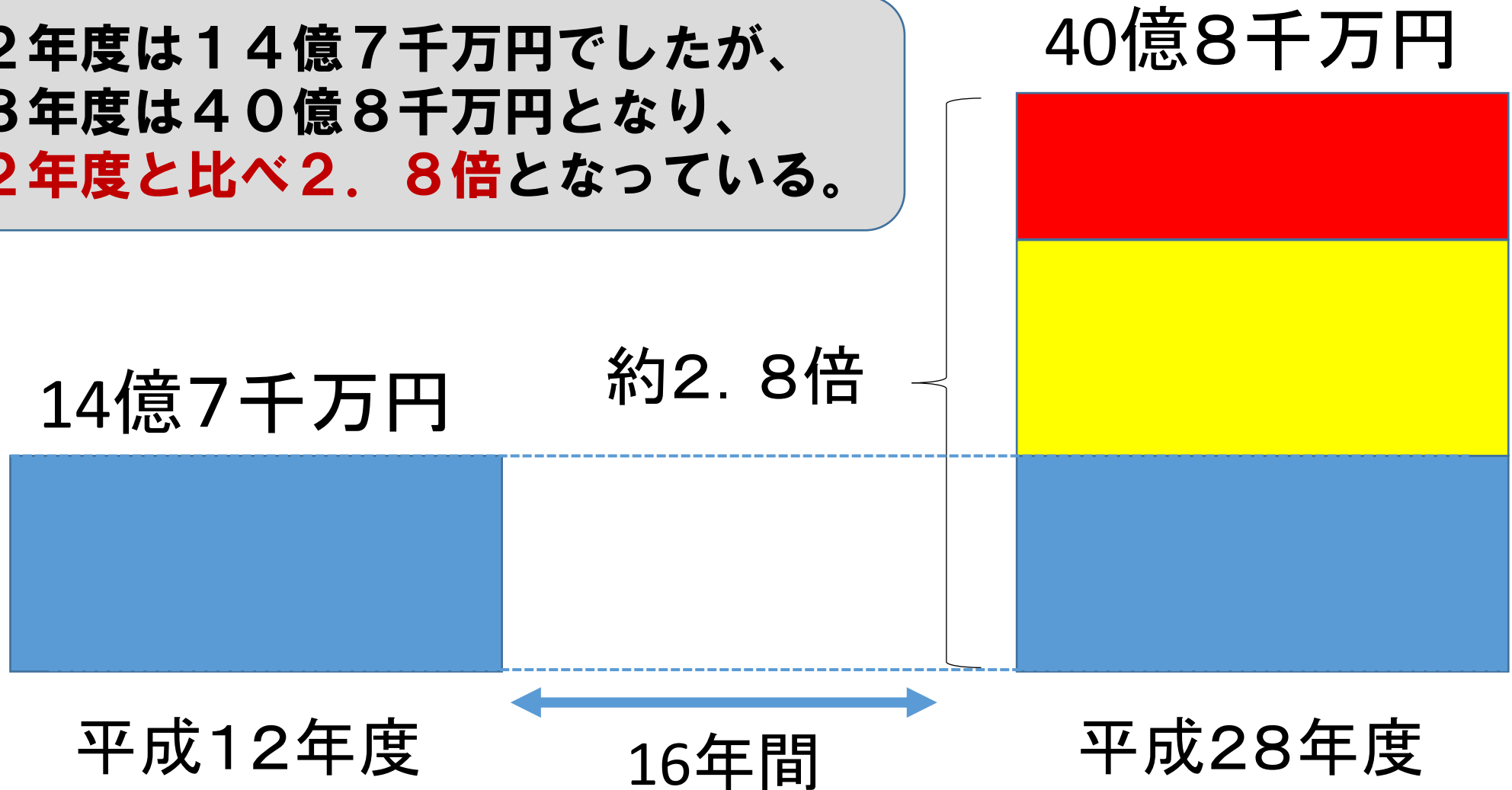
北海道内市町村の要介護認定者数の増加率

- 平成23年から平成27年度までの5年間の
要支援・要介護認定者数の増加率は
千歳市は約35%と全道一となっている。

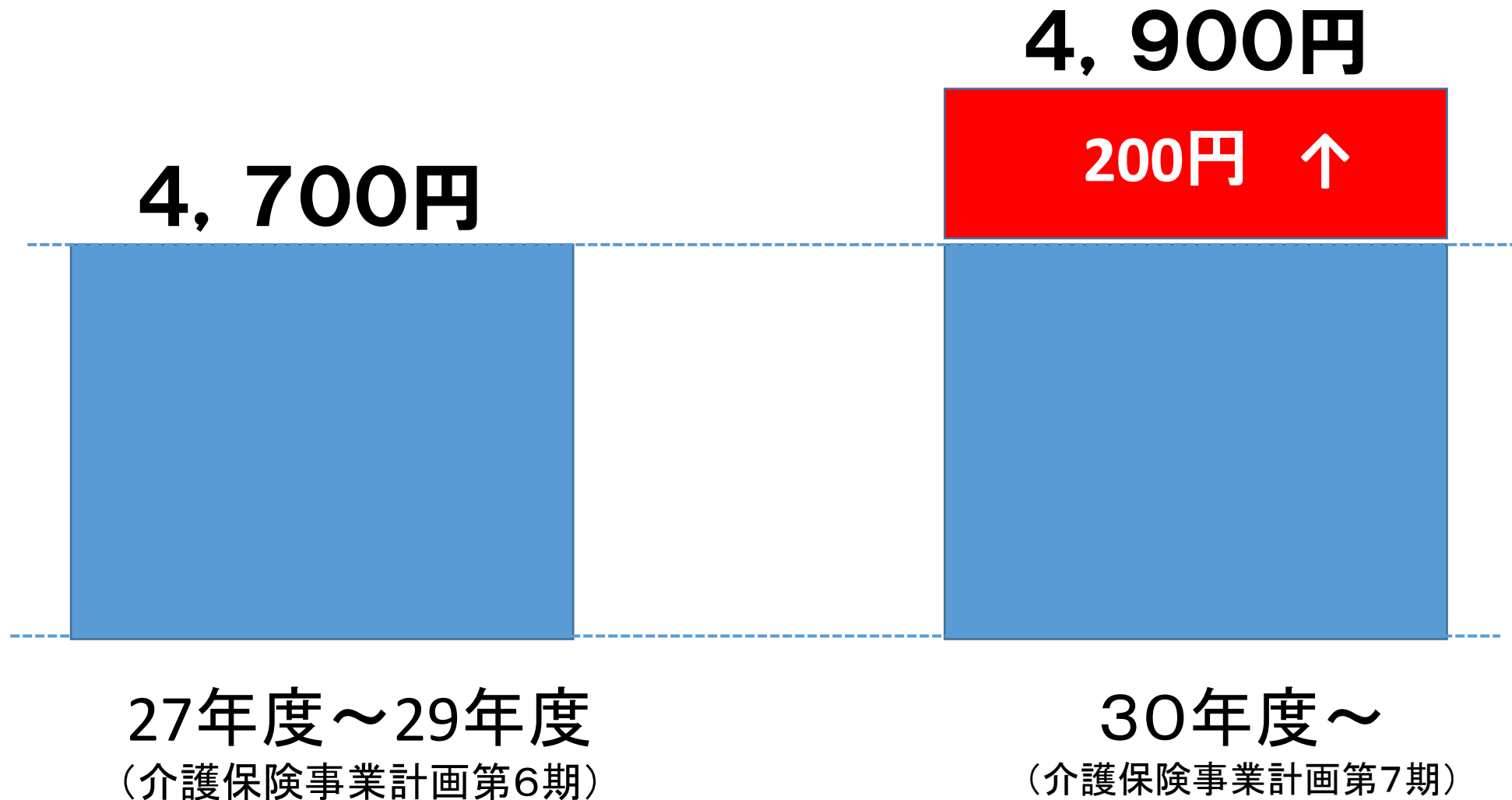
厚生労働省「介護保険データー資料」参照

千歳市の介護保険給付費（決算額）の推移

平成12年度は14億7千万円でしたが、平成28年度は40億8千万円となり、平成12年度と比べ**2.8倍**となっている。



千歳市の介護保険料の基準月額



あくまでも国の統計ですが...

【千歳市の場合】

高齢者の約7人に1人が認知症等を発症する？！

認知症有病率15%

MCIの有病率13%

約3,200人

約2,770人

認知症高齢者

MCIの人
(正常と認知症
の中間の人)

(H30年1月1日現在)

65歳以上高齢者人口 21,332人

千歳市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果 について、一部抜粋して紹介します。

【調査目的】（平成29年6月～7月実施）

本調査は、身体機能低下、閉じこもり、認知症等の要介護度の悪化につながるリスク要因、高齢者の生活状況や社会参加状況などを把握するとともに、関係市町村における介護予防・日常生活支援総合事業への活用などを主な目的としている。

【回答者】

回答者数は2,055人であり、日常生活圏域の構成は表のとおり。

日常生活圏域	人	割合
北区	368	17.9
南区	390	19.0
東区	441	21.5
西区	426	20.7
向陽台区	430	20.9
合計	2055	100.0

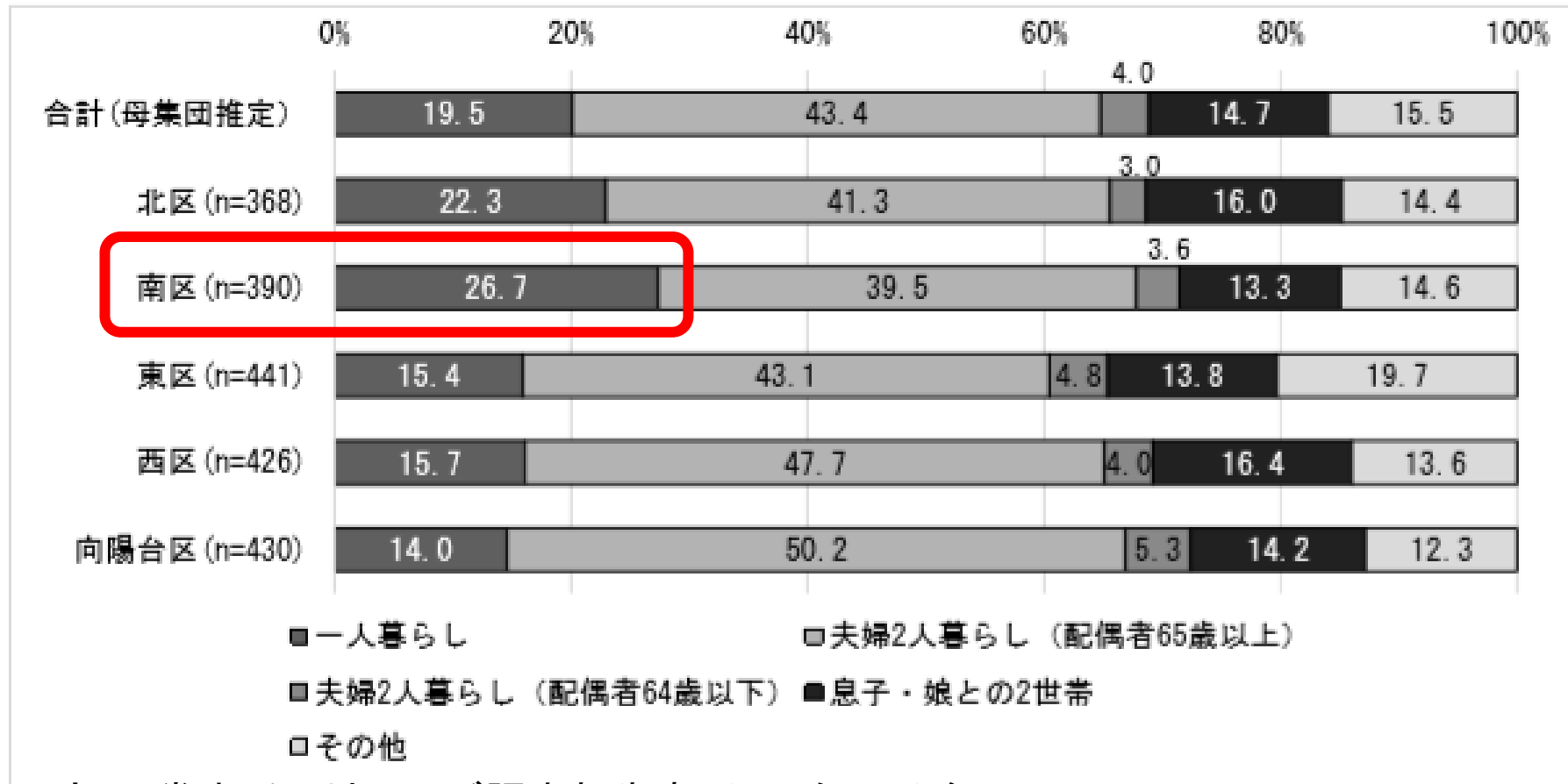
日常生活圏域別 町名

区域	町名
西区	北栄、新富、信濃、北斗、富士、北信濃、自由ヶ丘、桜木、上長都
東区	稲穂、幸福、清流、青葉、青葉丘、日の出丘、日の出、住吉、旭ヶ丘、梅ヶ丘、東郊、寿、弥生、豊里、祝梅、柏台、中央、泉郷、東丘、新川、幌加、協和、駒里、美々、根志越、流通、柏台南
北区	北信濃、勇舞、長都駅前、都、釜加、上長都、長都、みどり台北、みどり台南、末広、花園、高台、富丘、あずさ、北光、北陽

区域	町名
南区	栄町、千代田町、東雲町、清水町、朝日町、幸町、錦町、本町、春日町、緑町、真々地、真町、大和、桂木、蘭越、新星、支笏湖温泉、平和、モラップ、水明郷、幌美内、支寒内、美笛、奥潭、藤の沢、西森、紋別
向陽台区	若草、白樺、里美、柏陽、福住、文京、泉沢

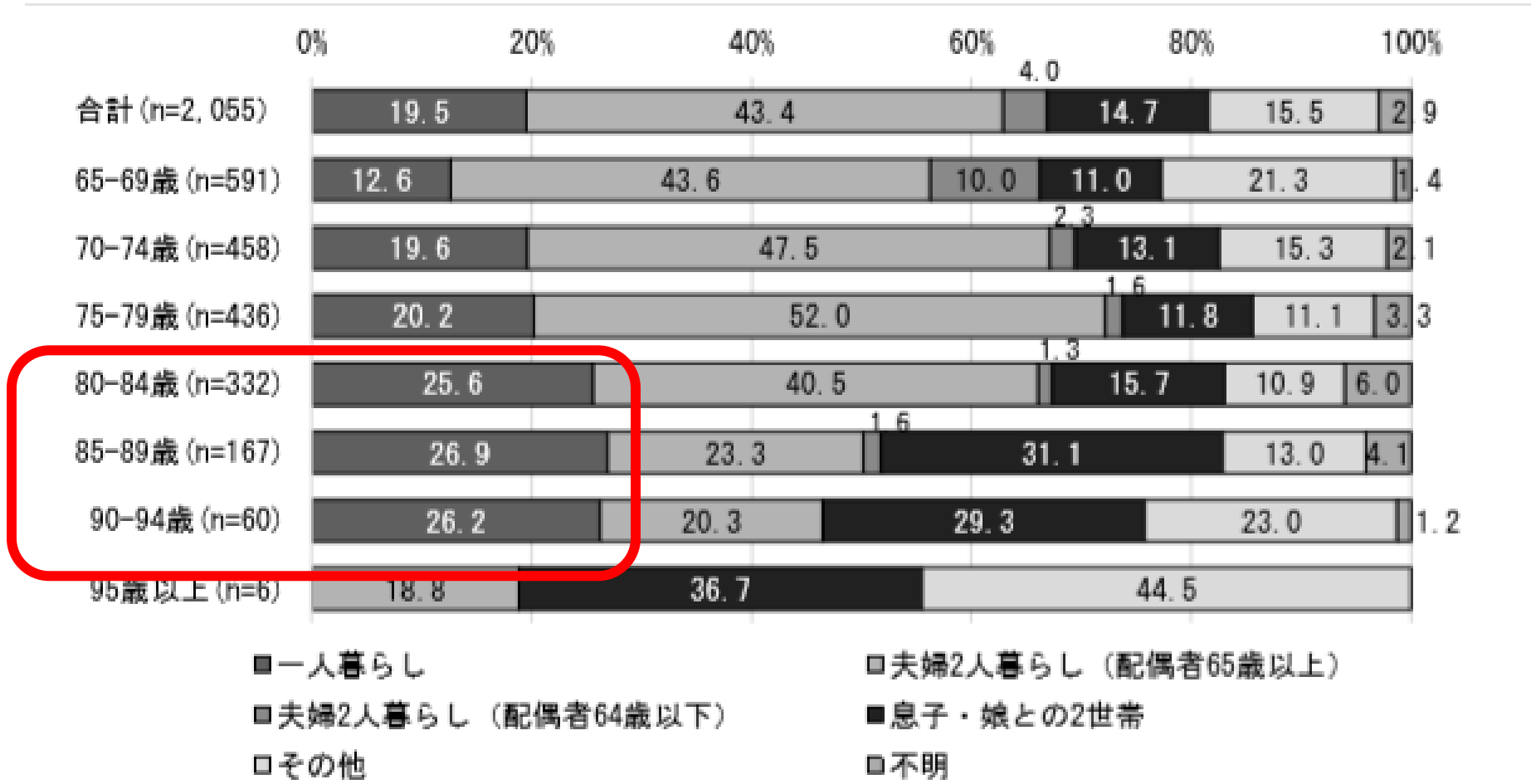
一人暮らし世帯の状況

- ・回答者の家族構成をみると、2割弱が「一人暮らし」。
- ・「南区」が割合が高くなっている。
- ・「向陽台区」では合計より「一人暮らし」が5.5ポイント低く、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が6.8ポイント高くなっている。



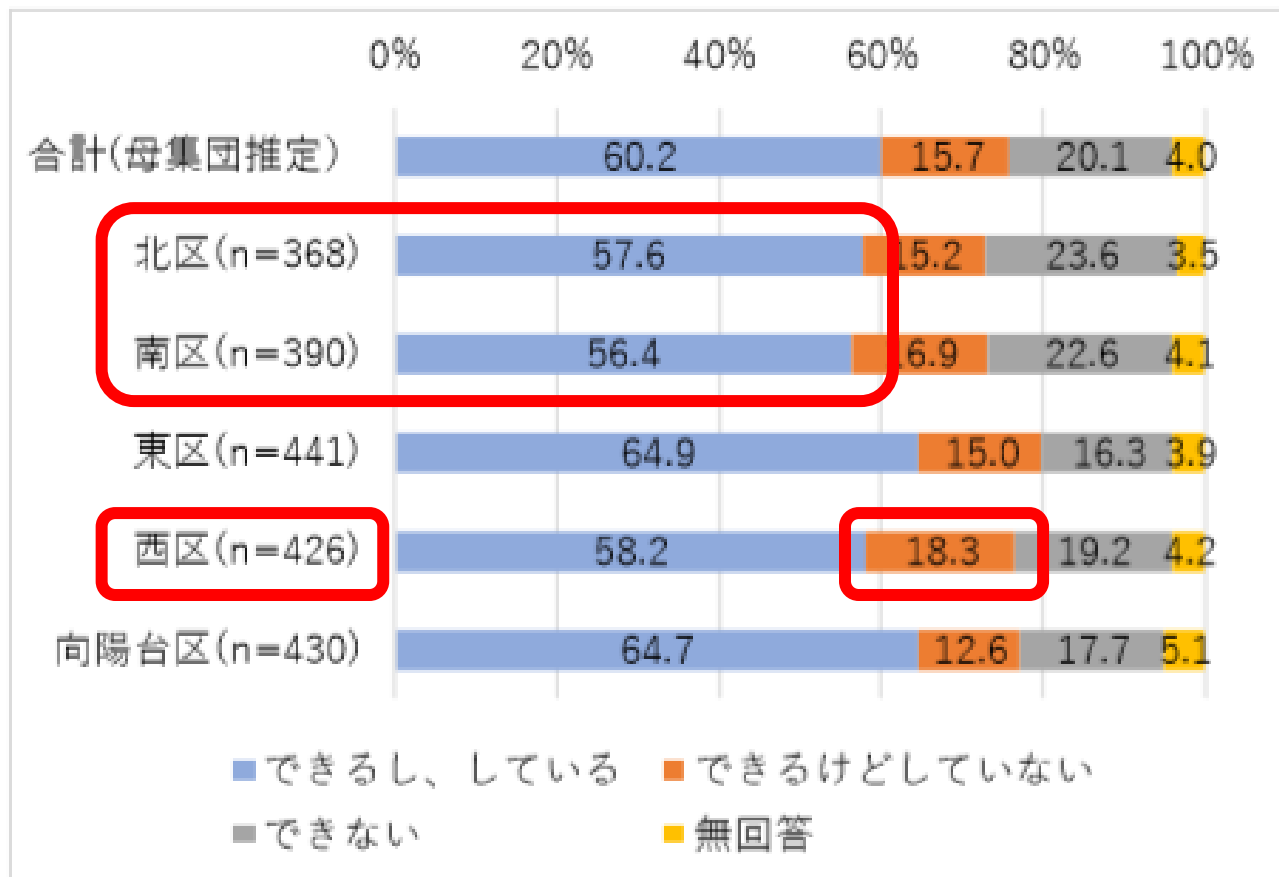
年齢別の世帯状況

- ・年齢が高くなるにつれ「一人暮らし」の割合が高くなっている。
- ・80歳以上になると、4人に1人が「一人暮らし」となっている。

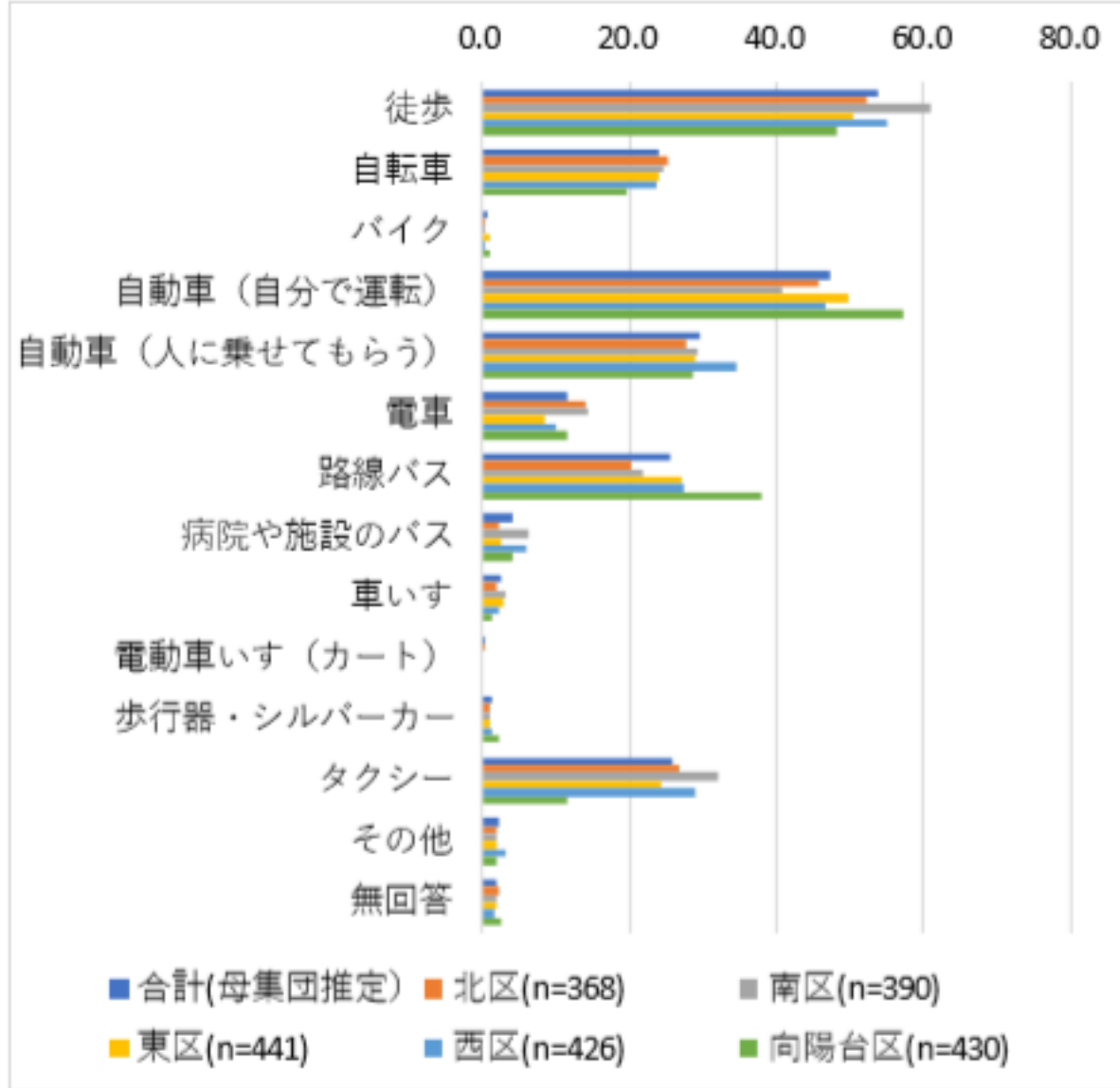


「階段や手すりや壁をつたわらず昇っていますか」

- ・北区と南区で「できない」が2割を超えている。
- ・西区で「できるけどしない」が18.3%と最も高くなっている。



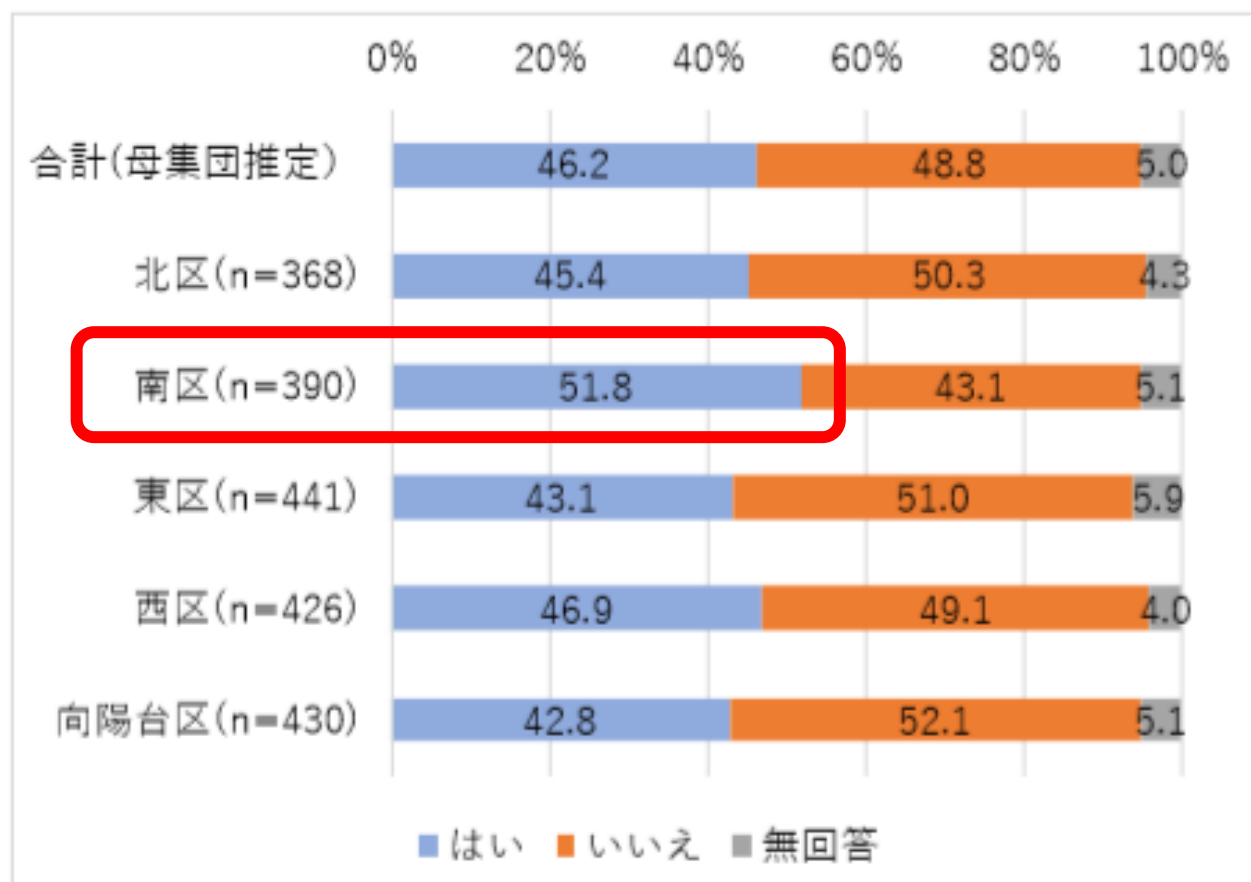
「外出する際の移動手段は何ですか」



- ・北区では「路線バス」が低くなっている。
- ・南区で「徒歩」「タクシー」が高く、「自動車(自分で運転)」が低くなっている。
- ・向陽台区では「徒歩」「タクシー」が低く、「自動車(自分で運転)」「路線バス」が高くなっている。

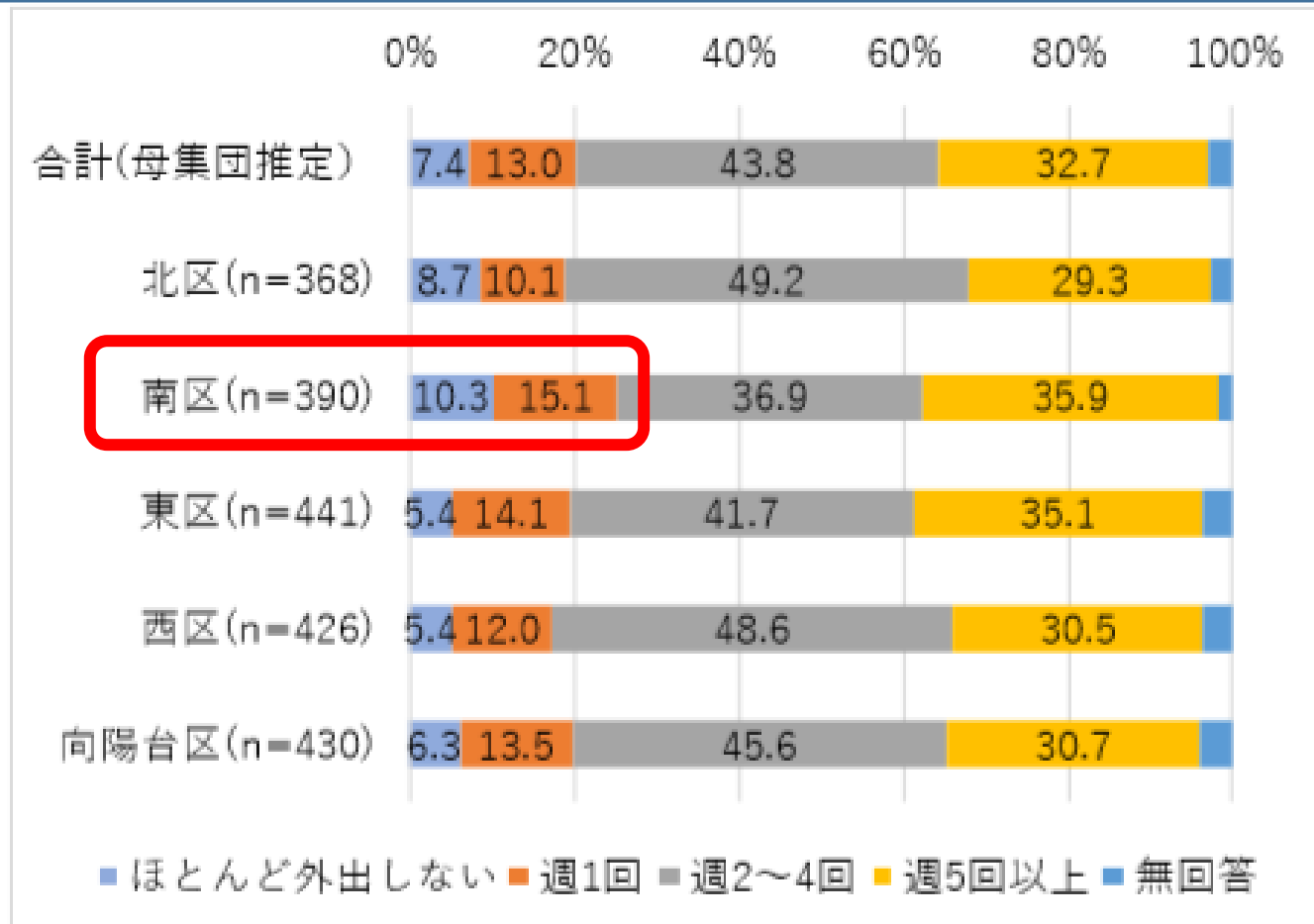
「物忘れが多いと感じますか」

- ・全体では「はい」が46.2%、「いいえ」が48.8%となっている。
- ・南区では「はい」の割合が高くなっている。



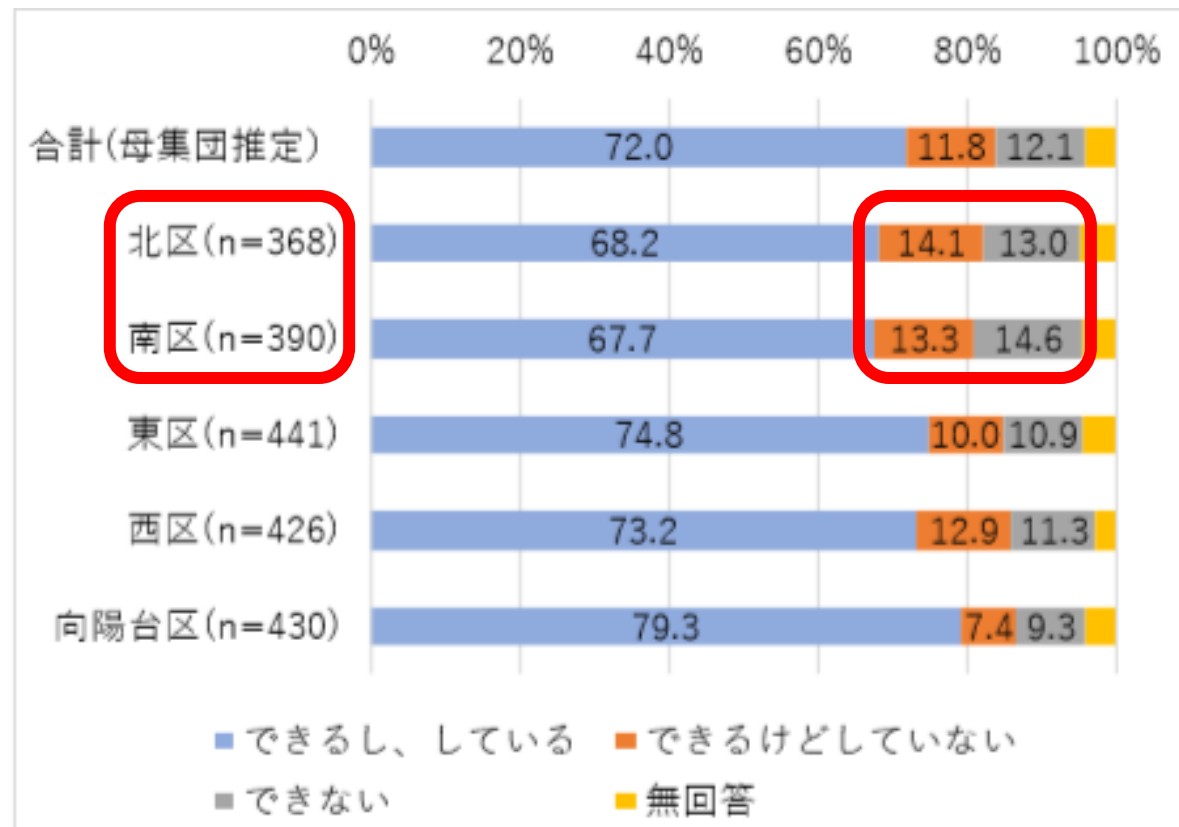
「週に1回以上は外出していますか」

- ・「ほとんど外出しない」と「週1回」の合計は南区で25.4%と他の区より高くなっている。



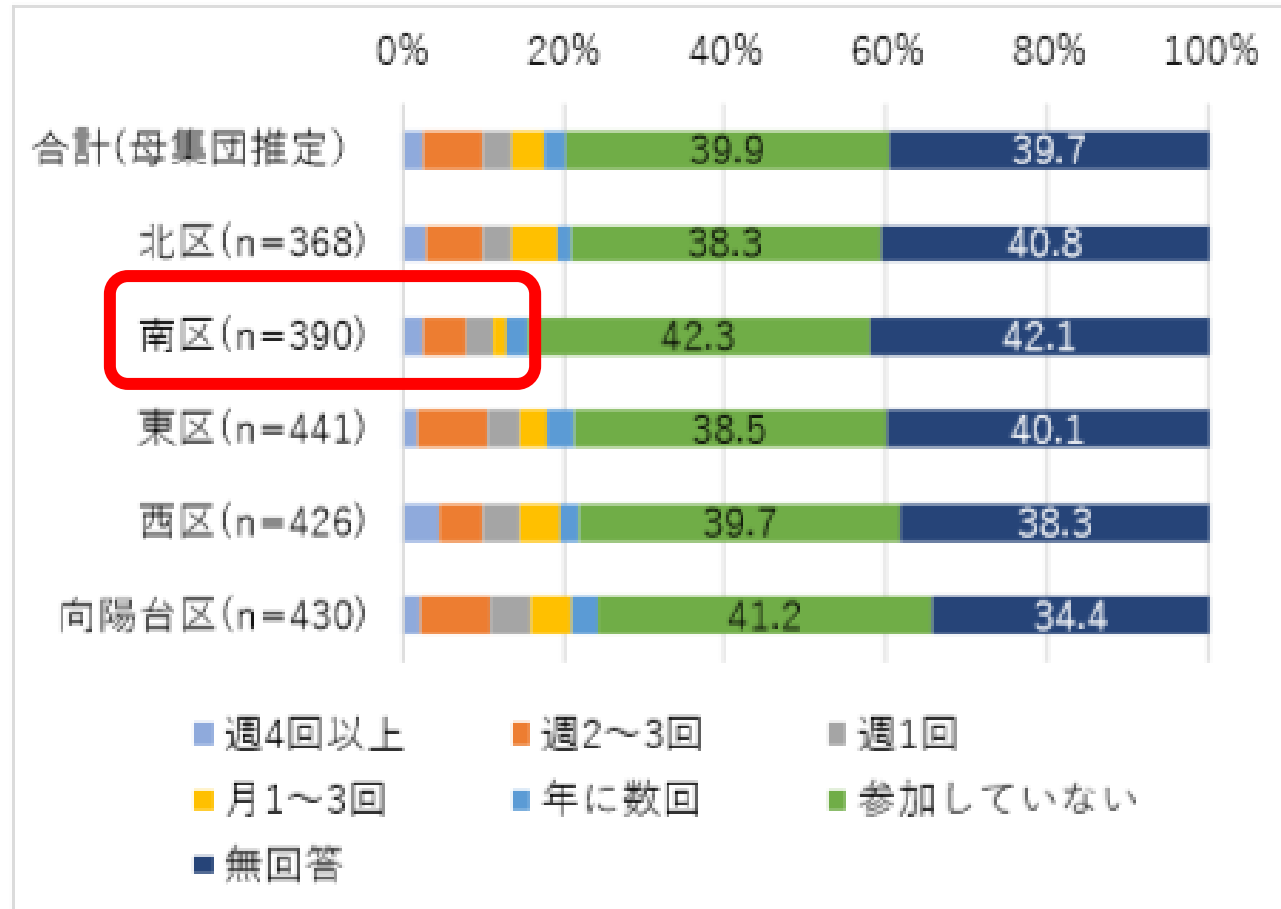
「バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)」

- ・向陽台区では「できるし、している」が7.3ポイント高くなっている。
- ・「できるけどしていない」と「できない」の合計は、南区が27.9%、北区が27.1%と他の地区より高くなっている。



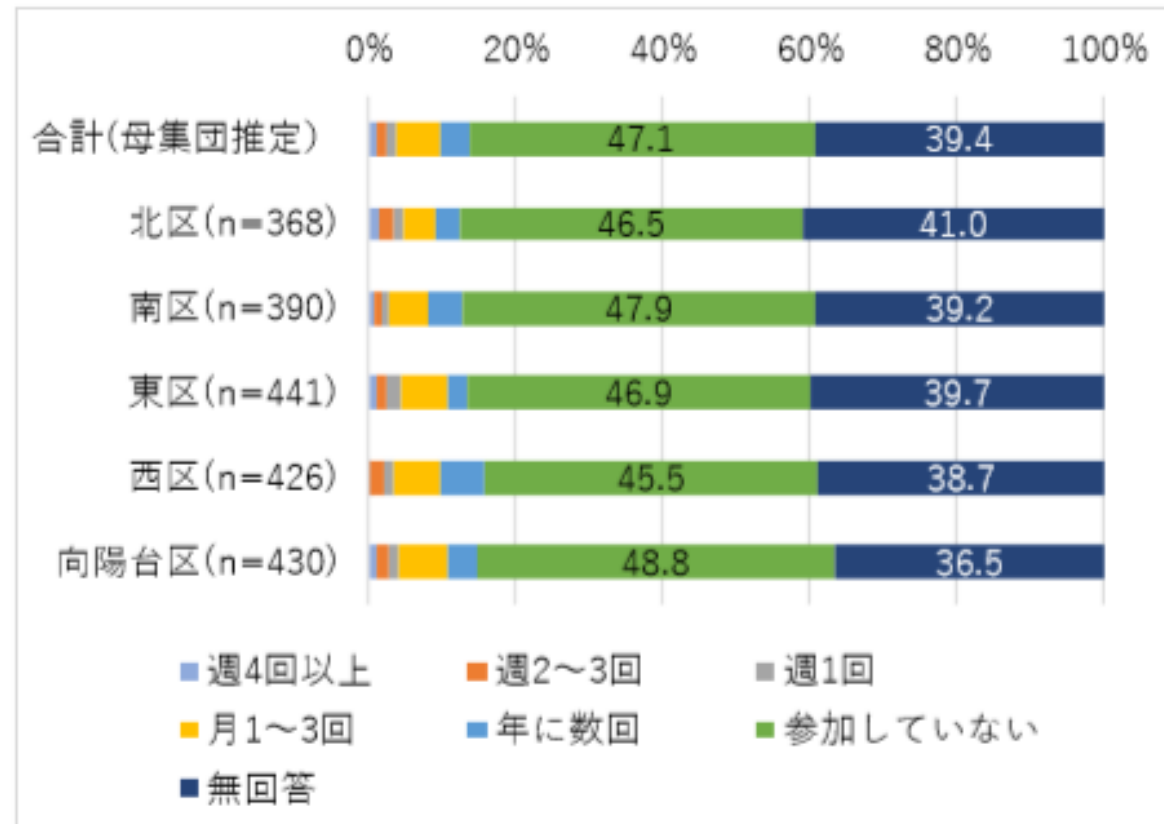
「スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加していますか。」

- ・南区では15.6%と他の区と比較してやや低くなっている。



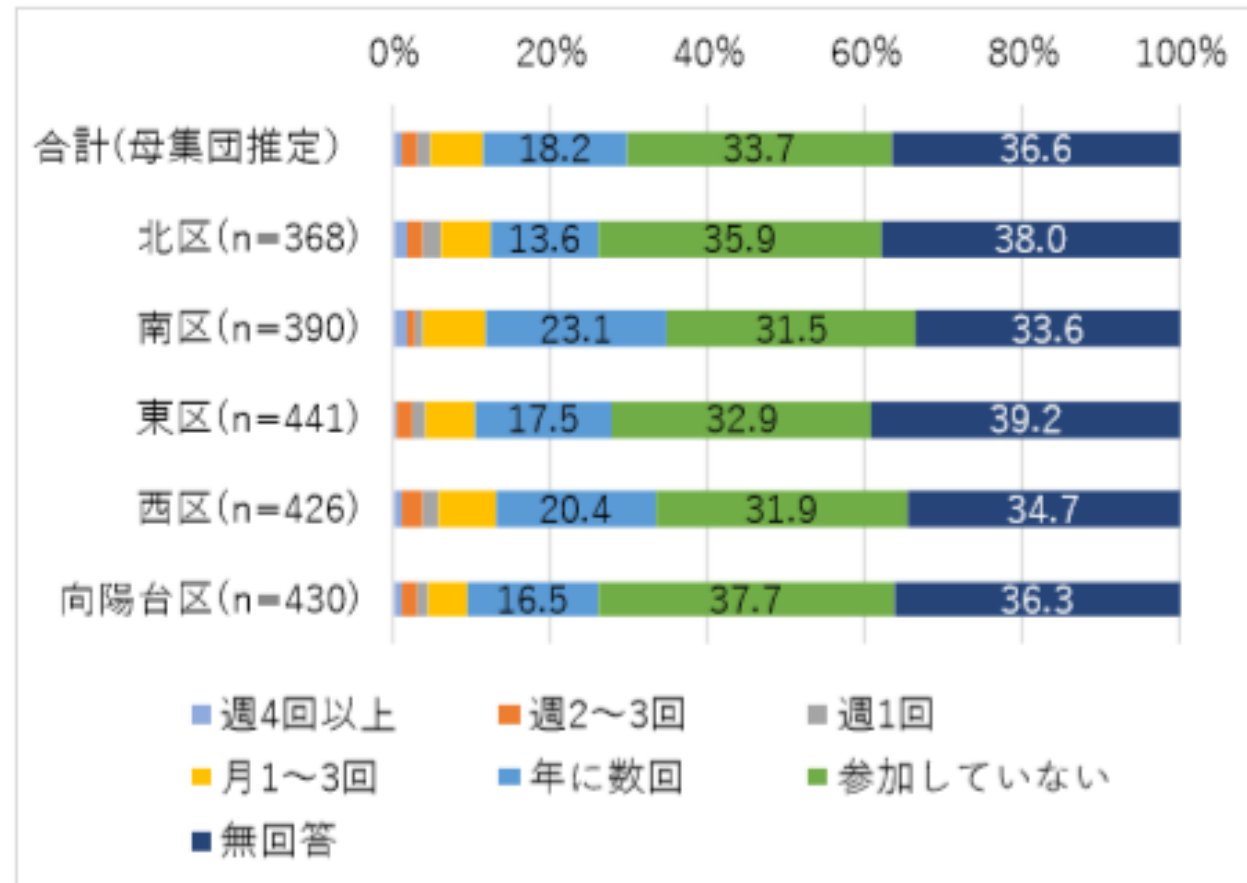
「老人クラブにどのくらいの頻度で参加していますか」

- ・合計では「参加していない」が47.1%、「月1～3回」が5.7%となっている。
- ・何らかの形で参加している方は合計では13.6%となっている。



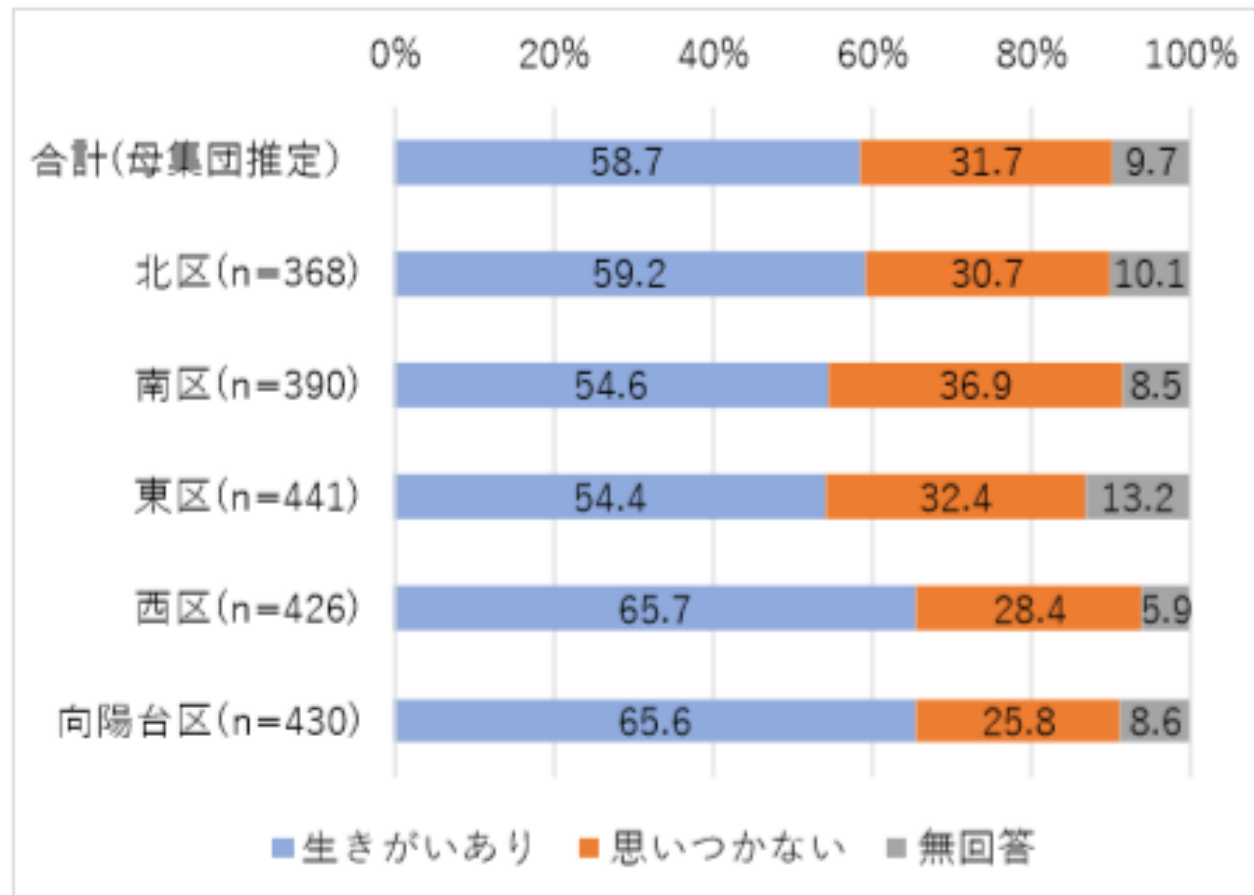
「町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加していますか」

- ・合計では「参加していない」が33.7%、「年に数回」が18.2%となっている。
- ・何らかの形で参加している方は合計では29.7%となっている。
- ・南区では34.9%と、5.2ポイント高くなっている。



「生きがいがありますか」

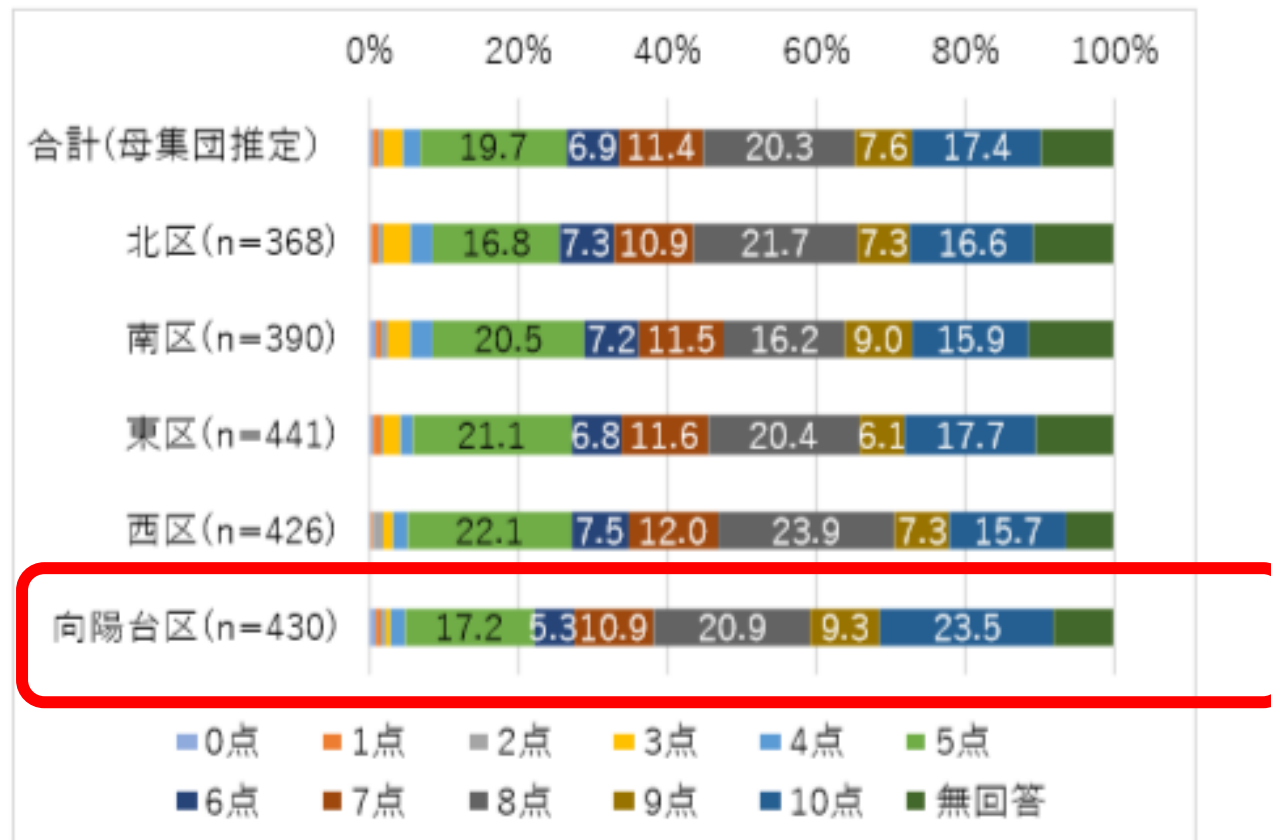
- ・合計では、「生きがいあり」が58.7%
- ・西区、向陽台区で高く、南区、東区で低くなっている。



現在の幸せの度合い

「とても不幸」が0点、「とても幸せ」が10点

- ・向陽台区では、「10点」の回答率が一番高い。
- ・北区と南区で「0点～4点」の回答が他の圏域に比べてやや高い。



「地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味当のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話約)として参加してみたいと思いますか」

- ・合計では「是非参加してみたい」が3.1%、「参加しても良い」が30.1%、「参加したくない」が55.2%となっている。

